

**選定理由** 近年、瀬戸内海の4地点(2地点が岡山県)から報告され、約1世紀ぶりに国内での生息が確認された種である。知見が乏しい種であるため情報不足とした。

**形態** 体長は最大で10 cm程度。第5胸節側突起は先端が前方に湾曲した太い棘状で、この突起の基部付近は明瞭な黒斑を有する。コクテンシャコはこの形態・色彩によって国産のシャコ類と容易に区別することができる。Manningは中国産標本とBalss(1910)が報告した岡山県産標本を検討し、岡山県産標本をパラタイプとしつつ*Cloridopsis aquilonaris* Manning, 1978を記載した。その後しばらく国産種はオカヤマコクテンシャコ*C. aquilonaris*として扱われた(例：三宅, 1982)。しかしその後、中国産標本にコクテンシャコとオカヤマコクテンシャコの両種の形態的特徴を有する個体や中間的な形態を有する個体が認められ、オカヤマコクテンシャコはコクテンシャコの新参異名とされ(Ahyong et al., 1999)、国産標本は再びコクテンシャコとして扱われている。筆者らは近年に瀬戸内海から採集された標本を検討し、国産標本がコクテンシャコに同定できることを再確認した。

写真：RUMF-ZC-6871, オス, 全長 76.5 mm。岡山県笠岡市大島川河口, 佐藤大義採集, 中島広喜撮影。



**分布** タイプ産地のインドからマレーシア, シンガポール, インドネシア, ベトナム, 台湾, 中国, 日本, 韓国にかけて広く分布している。国内では瀬戸内海, 三重県津市, 東京湾から記録されている(Nakajima & Ariyama, 2022)。

**生息状況** 潮間帯から水深20 mまで、とくに汽水域に連なる環境から報告されている(Ahyong, 2016)。コクテンシャコはBalss(1910)により、岡山県産標本(詳細な産地は不明)に基づいて国内から初めて記録された。その後Komai(1927)などにより岡山県児島湾, 三重県津, 神奈川県金沢や三崎, 東京都佃島から記録された。筆者が確認した限り、1915年に佃島で採集された標本(東京大学総合研究博物館収蔵, UMUTZ-Crs-Sto-47)が最後に採集されたもので、それ以降は国内における採集記録はなかった。しかし近年、瀬戸内海の4地点(いずれも河口干潟)からその生息が確認された(Nakajima & Ariyama, 2022)。同論文では岡山県内に限ると2018年に備前市, 2020年に笠岡市から本種を報告している。その後、2022年には岡山市からも発見されている(琉球大学博物館収蔵, RUMF-ZC-7451)。前述のようにコクテンシャコは三重県や東京湾からも報告があるが、近年では瀬戸内海での生息しか再確認できておらず、瀬戸内海の個体群の重要性を考慮する必要がある。加えて、本種が好んで生息する河口干潟環境の減少・悪化なども考慮すると、生息状況把握のための情報収集は急務と考えられる。

(中島広喜・佐藤大義)

## 引用文献

- Ahyong, S.T. 2016. Results of the Comprehensive Marine Biodiversity Survey International Workshops 2012 and 2013: stomatopod Crustacea. *Raffles Bulletin of Zoology* (Suppl. 34): 455–469.
- Ahyong, S.T., Chu, K.H., Chan, T.Y. & Chen, Q.C. 1999. Stomatopoda of the Zhujiang Estuary between Hong Kong and Macau. *Crustaceana*, **72**: 37–54.
- Balss, H. 1910. Ostasiatische Stomatopoden. Beiträge zur Naturgeschichte Ostasiens. Herausgegeben von Dr. F. Doflein. *Abhandlungen der mathematisch-physikalischen Klasse der Königlich Bayerischen Akademie der Wissenschaften* (Suppl. 2): 1–11.
- Komai, T. 1927. Stomatopoda of Japan and adjacent localities. *Memoirs of the College of Science, Kyoto Imperial University*, Series B, **3**: 307–354, pls. 13, 14.
- Manning, R.B. 1978. New and rare stomatopod Crustacea from the Indo-West Pacific region. *Smithsonian Contributions to Zoology*, **264**: 1–36.
- 三宅貞祥 1982. 原色日本大型甲殻類図鑑 (I). 保育社, 大阪.
- Nakajima, H. & Ariyama, H. 2022. Record of *Cloridopsis scorio* (Latreille in Latreille, Le Peletier, Serville & Guérin, 1828) (Stomatopoda: Squillidae) from Japan: rediscovery after almost a century. *Plankton & Benthos Research*, **17**: 185–191.